

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：財産管理費

事業名 建築担い手総合支援サイト運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 公共建築課 建築計画係

電話番号：058-272-1111 (内 3683)

E-mail：c11660@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,167千円 (前年度予算額：2,167千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,167	0	0	0	0	0	0	0	2,167
要求額	2,167	0	0	0	0	0	0	0	2,167
決定額	2,167	0	0	0	0	0	0	0	2,167

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

建築業界の技術者・技能労働者は高齢化が進行し、次世代への技術承継が大きな課題となっている。また、建築・電気設備・機械設備等の設計・施工すべての分野において、若年入職者が減少しており、今後の建築工事の品質確保にも大きな影響を及ぼす恐れがある。

人材不足の背景として、3K (きつい・汚い・危険) といったイメージがあること、建築業界に関する情報が少ないため就職後のギャップによる離職率が高いことなどから、人材確保のためには、建築業界への理解を深め、イメージアップを図る必要がある。

そこで、ネガティブなイメージを払拭し、若者に魅力のある建築業界を築き上げるための工夫として、幅広い世代に建築業界の“しごと”の魅力をPRし、入職希望者や入職者にも必要な情報を適時かつ直接収集できるようにサイトを構築し、人材の確保及び育成を図る。

(2) 事業内容

建築業界の“しごと”の魅力をPRするため、仕事内容の紹介や、活躍して

いる人の紹介、見学会等のイベント等の情報を発信する。

入職希望者や入職者には、出前講座や相談会、資格取得に係る講習会等の情報を一元掲載することにより、建築業界の情報提供の効率化を図るとともに、情報収集の利便性を向上させる。

また、職場環境改善事例紹介や、国の施策情報等を適時配信し、建築業界の職場環境改善のボトムアップを図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の改正（H26）では、担い手の中長期的な育成・確保が発注者の責務であるとされた。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,167	HP 保守管理委託費
合計	2,167	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

担い手3法（改正：平成26年6月4日）において、建設工事の担い手の確保及び育成とその支援に関する責務が追加され、建設業の人材不足について、国においても喫緊の課題として捉えられている。

建設業としての取組みは国及び他県でも行われているが、建築業界に特化した担い手確保・育成事業は見当たらない。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

建築業界の仕事の紹介や、見学会・交流会等の情報、職場環境改善の施策等をインターネットを通じて広く情報発信し、仕事への理解と魅力を深めることにより、建築業界への入職者の確保・育成・定着の促進を図るとともに、建築現場の職場環境改善など建築業界全体のボトムアップを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
年間総アクセス数	0 (H30)		10,125件 (R1)	12,000件 (R5)	84%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

平成31年4月から稼働。
昨年度の総アクセス数10,125件。
建築業の仕事内容はもちろんのこと、研修会の案内、イベントの告知等を随時情報提供した。

（前年度の成果）

アクセス数も順調に伸び、伝えたい情報をタイムリーに提供することができた。
当センターが行う研修会の申込みもサイトから簡単にできるようになり、利用者の利便性が向上した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	人材不足の背景として、3K（きつい・汚い・危険）といったイメージがあること、建築業に関する情報が少ないため就職後のギャップによる離職率が高いことなどから、人材確保のためには、建築業界への理解を深め、“しごと”の魅力を発信していくことは、重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	アクセス数は順調に伸びており、期待どおりの成果があがっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	岐阜県建築担い手育成協議会の会員とも連携し、会員の情報も積極的にアップすることで、情報の共有化、効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>建築業界の就労に対しては、ネガティブなイメージが根強いため、長期的な視点でのイメージアップが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>建築業界、関係機関の意見や利用者のニーズを踏まえ、見直しを加えながら建築業界の魅力を発信を継続的に実施していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	